

夢じゃーなる

Vol.

11

第3期阪神北地域ビジョン委員会だより

平成19年(2007年)2月

発行：阪神北地域ビジョン委員会

編集：阪神北地域ビジョン委員会広報部会

http://web.pref.hyogo.jp/area/n_hanshin/vision.html

目次

・2月24日の夢会議にむけて ……………	2
・グループの活動状況 ……………	2
・「出前県民演芸団」三田公演! ……	3
・子育て・子育て支援 本音でトーク! …	3
・「地域見本市」開催報告 ……………	4・5
・「こどもと地域の環境会議」開催報告 …	6
・「ありまふじフェスティバル」等に参加 …	7
・笑顔にむかえられて ……………	7
・宝塚「小浜の宿」を訪ねて ……………	7
・川西・東谷コミュニティ文化祭に参加して …	8
・伊丹での「もちつき会」を共催して …	8
・ホットコーナー ……………	8
・お知らせ・編集後記 ……………	8

「みんなでつくる活力あふれる潤いの生活空間」をめざして

阪神北地域ビジョン委員会は、兵庫県知事の委嘱を受けた委員により構成され、「自律的な市民の参画と協働により新しい公の領域を築く」を基本理念に、ライフスタイル・コミュニティ・都市環境・阪神経済の4分野に11の活動グループと広報部会が県民の立場で地域づくり活動を行っています。

題字：早野 邑水

二月二十四日の
夢会議にむけて

第三期阪神北地域ビジョン委員会

副委員長

住井 一代



私たち第三期阪神北地域ビジョン委員は、今年の三月末で、二年間の任期を終えようとしています。率先してビジョン委員に加わった人、友人に誘われて参加した人：と様々な動機で約百人が集まりましたが、各分野の行動目標を達成するために、代表、副代表を中心に活発な議論をしました。そして、向こう五年間の行動目標を取りまとめ、地域夢会議や昨年十一月の地域見本市、十二月のこどもと地域の環境会議をはじめ、多岐にわたる具体的な実践活動へと展開してきました。

二月二十四日には、第三期のまとめとなる「地域夢会議」を予定しています。第三期の活動報告を行うとともに、第四期の活動がより一層充実したものとなるよう活発な意見交換を行いますと考えておりますので、多様な世代、特に次期ビジョン委員を希望される方や団塊の世代及びそれより若い世代に是非ご参加いただきたいと思っております。

「私たちの地域は私たちでつくる」という意識を持つ人の輪がさらに広がるよう努力していきますので、県民の皆様のご協力をよろしくお願いたします。

グループの活動状況

分野	グループ名	活動状況
第1分野	多世代交流グループ	①多世代交流に関する青壮年へのアンケート結果をまとめ、冊子を発行 ②1月28日「多世代交流会」を開催
	のびのび子育てサポートグループ	①2年間のまとめのリーフレットを発行予定 ②11月13日「子育て・子育て支援 本音でトーク!」を開催(3ページを参照ください) ③1月28日「多世代交流会」を開催
	いきいきメイクグループ	①10月23日、特別養護老人ホームを訪問し「心のメイク」を実施(7ページを参照ください) ②1月28日「多世代交流会」を開催
第2分野	明るく楽しく健幸創りグループ	出前県民演芸団「はじまるよ〜」も4市1町を回る第4コーナーです。3月6日猪名川町公演が有終の美でゴールできるよう頑張っています。(活動実績は3ページを参照ください)
	ニコニコ水曜会	①11月26日「川西・東谷コミュニティ文化祭」に参加 ②12月3日、伊丹での「もちつき会」を共催(ともに8ページを参照ください)
	夢と希望のしくみづくりグループ	①11月23日「地域見本市」を企画・運営(4~5ページを参照ください) ②2月17日「みんなの夢会議in西播磨」に参画予定
第3分野	水グループ	①武庫川・猪名川流域の水に関連するガイドマップを発行予定 ②12月10日「こどもと地域の環境会議」に参画 ③3月18日「みんなの夢会議in北播磨」に参画予定
	身近な緑を語り隊!	①この木なんの木QRカードを普及啓発(7ページを参照ください) ②12月10日「こどもと地域の環境会議」に参画 ③3月18日「みんなの夢会議in北播磨」に参画予定
	都市環境(ゴミ問題・地球温暖化防止)グループ	①12月10日「こどもと地域の環境会議」(第1部)を企画・運営(6ページを参照ください) ②3月18日「みんなの夢会議in北播磨」に参画予定
第4分野	であいたい	①4市1町の最後の訪問地として宝塚を訪問(7ページを参照ください) ②2月17日「みんなの夢会議in西播磨」に参画予定 ③2月24日「地域夢会議」の開催準備
	何かいいことクリエートグループ	2月24日「地域夢会議」の開催準備

自然災害時の住宅再建をバックアップ! フェニックス共済

支援
最高600万円
掛金 年額5,000円

- ☆小さな負担で大きな安心!
- ☆すべての自然災害が対象
- ☆地震保険等に加えて加入可能(給付金も別々)
- ☆県が実施する信頼の制度

(財)兵庫県住宅再建共済基金 ☎078(362)9400
阪神北県民局防災課 ☎0797(83)3127



「はじまるよ」
「出前県民演芸団」三田公演!

十一月十日、三田の知的障害者授産施設「わくわく村」での出前演芸を開催しました。伊丹から始まった私たちの活動も、宝塚、川西、そして今回は三田での公演です。

三田では、地元の出演ボランティアサークルとのつながりが少なく、三田のボランティア活動センターや三田の友人、知人を頼りにお願いしてようやく演目が決まり、開催にこぎつけることができました。「わくわく村」では、作業所を開放頂き、利用者の方々とご家族、職員他七十余人の来場者を迎え、出演者の皆さんもはりきった演奏、演技でした。

最初は、三田ニュータウン地区で活動されている「すずかけ教室」の大正琴の演奏です。繊細で清らかな音色に会場はうっとり。「北国の春」

を大正琴の伴奏で、会場全員で合唱をしました。

次は、「ピアノ伴奏での声楽」。出演頂いた方のお子様がこの「わくわく村」に通所され、顔な



じみの方ばかりで、和やかな雰囲気の中、すばらしい声に耳を傾けたり、童謡を合唱したりしました。

続いては、腹話術サークル「ニコニコ」。腹話術に手品、さらに皿回しと次から次へと出てくる演技に、会場の皆さんは食い入るように見入っていました。皿回

しでは、皆さんも参加し、すぐに回せた人や思うように回せない人もいましたが、皆さん一生懸命でした。



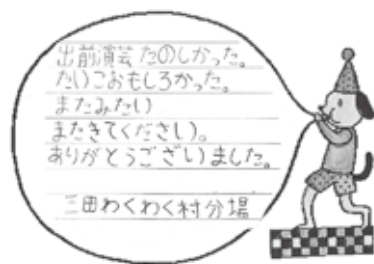
次の演目は、趣を変えて、「西谷むつみ会」の新舞踊。美空ひばりさんの曲に合わせた衣装で盛り上がりました。

トアンサンブル「MOO（ムー）」のフルート演奏。よく見る横笛、曲がった横笛、一メートルもある珍しい縦型のフルートもあり、十人のすばらしい演奏でした。しめくくりはフルート伴奏で、「大きな古時計」を合唱し、拍手のうち



「わくわく村」

では、今回のような催しは初めてで、利用者の方々に「ありがとう。また来てね」と声をかけられ、別れを惜しみながら「わくわく村」をあとにしました。後日、お礼状も頂きました。出演サークルの活動の場が広がり、施設との関わりを創ることもでき、ビジョン委員活動として一役を担ったのではないでしょう。今後、更に喜んで頂けるような演目を準備して、交流の場づくりに励みたいと思います。



（明るく楽しく健康創りグループ 三好 勝男）

子育て・子育て支援
本音でトーク!

私たちは「多世代で子育て」を目標に、また、「子育て支援とは何をしたらいいの」を、いつも心におきながらこの二年間活動してきました。四市一町における勉強会の成果を基盤とし、二年間のまとめとして十一月十三日、三田市、三田市老人クラブ連合会との共催により「子育て・子育て支援 本音でトーク!」を開

催しました。地域の方が中心でしたが、川西や宝塚からの参加者もあり、当初は十人ずつのグループを五つの設定で準備した席も追加するほどの盛況でした。五人の方にあらかじめ進行役をお願いしておりましたので、すぐに話し合いが始まりました。代表的な意見を紹介します。

①「親が変われば子が変わる」これは悪い、正しい間違いを問うのではなく、共に聞きあう・理解しようとする姿勢が大切である。

②子育て中のお母さんは弱音が吐けないのが現実。私に代わる人はいない」とぎりぎりまで頑張らなくても、「人を信頼し悩みを打ち明ける」ことにより、孤独感から抜け出すことができる。

このようにそれぞれにそれぞれの体験から貴重な意見をたくさん頂きました。

地域で活動していくうえで、多世代の人と交流し、心の声を聴く機会を持ちたいと会場の全員が思いました。



（のびのび子育てサポートグループ 長尾 洋子）

「まよ、さん!」を盛大に開催しました

日時：平成18年11月23日(祝) 11:00～16:30 / 場所：アステ川西

パネルディスカッション

コーディネーター：中瀬 勲 氏 (県立人と自然の博物館副館長、兵庫県立大学教授)
パネリスト：堀江 忠司 氏 (宝塚市中山台コミュニティ会長)
三井ハルコ 氏 (特定非営利活動法人 市民事務局かわにし 副理事長)
福西 文彦 氏 (社団法人 三田青年会議所2007年度理事長)



所属団体の紹介

- 中山台コミュニティ 部会制度をとり、それぞれテーマを持った部会が組織だって活動されています。モットーは「無理せず、できる人ができる時に楽しく活動する」
- 市民事務局かわにし 市とNPO、諸団体との橋渡しをする中間支援団体という位置づけで、それぞれの団体や個人が活動しやすい環境をつくられています。
- 三田青年会議所 将来を担う青少年の育成事業や各種公的なイベント開催の呼びかけなどを行い、若い力を発揮されています。

まとめ

- ①年齢や肩書きにかかわらず、「フラットな」関係で、楽しみながら活躍すれば、すばらしい「まちづくり」ができるということが共通の話でした。
- ②中瀬氏のコーディネートにより、会場に来られた方とパネリストとの「やりとり」もできました。

展示を中心とした地域見本市

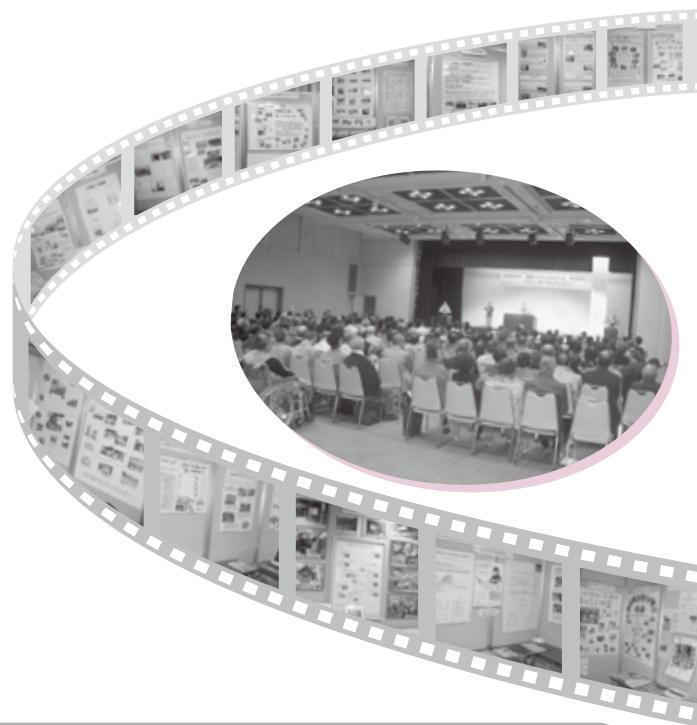
- ①アステ川西 5・6階会場で展示
- ②参加数は58団体 (伊丹市5、宝塚市10、川西市13、三田市11、猪名川町4、ビジョン委員会5、広域・行政等10)
- ③5階展示場では、小ステージを設けて紙芝居や腹話術の演技披露、そして地域製品の試食・試飲コーナーも設置
- ④6階ホールでは、講演会終了後に、地域の名産「イチジク」を使った手作り菓子を配布



地域見本市 『地域ってみんなと お父』

地域見本市 まとめ

約300人の来場者および多数の来賓があり、シンポジウムとしての堀田力氏の講演（地域の魅力、退職後の生き方）と、パネルディスカッション（司会者とパネリスト3人による）、地域活動団体による地域見本市と、盛りだくさんの内容が、多くの人をひきつけたのではと思います。事前準備や後片付けが大変でしたが、来場者の反応は予想以上に好評で、今後のビジョン委員活動にとっても良い刺激になったと感じました。



堀田力氏 講演レポート

アステホールでは、さわやか福祉財団理事長の堀田 力 氏による講演が行われました。テーマは『肩書きをはずしたとき～あなたに何が出来ますか？～』。

会場にお集まりいただいた、いわゆる団塊世代を中心とする約300人の来場者のみなさまに、テレビなどでもおなじみの堀田氏独特の柔らかい口調で、わかりやすくそしておもしろくメッセージをいただきました。

総じて“肩書き”重視の世界で「しきたり」に縛られてきたサラリーマンは、肩書きを外すことに対し相当不安を感じています。多くの日本人は、初対面の挨拶には名刺を多用し、そこにどんな肩書きが記されているかが大事と考えていますが、欧米では名刺を渡すことによって勤務先やポストを誇示することよりも、ボランティアや地域社会活動に対する参加状況や、活動に対する“想い”を熱く語り、その“人となり”をアピールすることが多いそうです。

また、移民の多いアメリカなどの欧米諸国では、元来異文化・異言語を受け入れる土壌があり、だれでも受け入れていく社会性が子どもの頃から自然に身につけているようですが、日本社会ではまだまだ『新住民』と『旧住民』の交流が起こりにくい閉鎖性があります。

このふたつの傾向は、団塊世代に特に強くみられるため、彼らが退職を迎え、本日のテーマにあるように、新たに地域社会の中へ入っていくためには、まずこの殻を破り、思い切って地域の中に飛び込んでみるのが大切であると堀田氏は言います。



地域活動の活性化のためには、団塊世代がこれからどう関わっていくかが重要なキーになります。企業では使ってもらえないかもしれないけれども人の役にたつ能力をまさに活用することで、やわらかく、あたたかい、暮らしやすいまちが実現するのです。

『よし、自分もやってみよう！』そんなエネルギーが湧いてくる講演会でした。

(夢と希望のしくみづくりグループ 蛭谷 信央)



知った! 分った! 環境問題! 「こどもと地域の環境会議」盛大に開催!

将来を担うこどもたちが、地域の環境の中で生き、その恵みで生活していることを実感し、地域環境ひいては地球環境に関心を持ってもらうため、「こどもと地域の環境会議」を、さる12月10日(日)、川西市のアステホールで、小・中学生をはじめ一般も含め、約180人の参加のもとに盛大に開催しました。

第1部「楽しく学べる環境学習」

私たちビジョン委員会の第3分野は、第1部を担当し、ややもすると難しく思われがちな「環境学習」を子どもとともに一緒に考え、楽しく学べるように工夫をしました。最初の導入部分として、環境の重要な要素である「川」にまつわ



る多田地域の伝説—猪名川の「九頭龍伝説」—を、川西市多田小学校区コミュニティ推進協議会のご協力を得て、電子紙芝居形式で実演していただきました。初めて知ったという人も多かったのではないのでしょうか。

続いて、「水の恵み」「森の恵み」「地球温暖化」をテーマに、自然の大切さおよびその環境メカニズムを私たちが今住んでいる地域に関連づけて映像により、環境の大事さを学習していただきました。

その後は、こうした学習の成果を踏まえ、そして皆で楽しみながら、さらに環境について理解を深める目的で、ビンゴ方式による「阪神北こども環境クイズ」を実施しました。このクイズは、前に学習した「環境のお話」ののっとり、「水」「森林」「地球温暖化」の3部門構成で出題しました。質問は、難易の入り混じった内容でしたが、前の「環境学習」をしっかり聞いていれば、正解に到達できるようにした結果、学習の効果が早速表れたのか、全問正解者も多数でした。



ここで「夢じゃーなる」の読者の皆さんにも会場に出した問題にチャレンジしてもらいましょう。

問題：今と同じ生活を続けていくとすれば、最悪の場合、これからの100年間で地球の温度は何度上がるといわれていますか？



次の3つから選んでください。

- ①約3.5度、②約5.8度、③約8.0度

正解は下の欄外をご覧ください。

これらの質問を通じて、小・中学生を含めた参加者の皆さん方の「環境」についての認識が深まり、自分は何をしなければならないのかを理解していただけたものと思います。

第2部「『阪神北こどもエコ探検隊』活動の発表及び意見交換」

第2部は、「阪神北こどもエコ探検隊」として阪神北地域の小・中学生5チームによる成果発表と質疑応答が行われました。いずれの発表も今の環境問題を自分の問題として取り組んだ結果としてのすばらしい内容のものでした。また、意見交換に



おいても、参加者からの積極的な意見もだされ、予定の時間を30分もオーバーしましたが、無事終了することができました。

最後になりますが、環境問題の解決に特效薬はありません。地道な努力が必要です。「地域のそして地球の環境問題」については、次の世代を担う小・小・中学生の皆さんが1人でも多くこの問題を自分のものとして受け止め、その原因となっている二酸化炭素などの「温室効果ガス」を少しでも減らしていく努力をお願いしたいものです。もちろん、今の状況を作り出してきた私たち大人の責任も重大です。私たち大人も日々の生活を見直し、環境問題の原因の低減化に真剣に取り組んでいくことを誓って、こどもと地域の環境会議の報告とさせていただきます。

(都市環境グループ 西田 安民)

質問の正解：②5.8度です。

「ありまふじフェスティバル」と「秋の花と緑を愛でる会」に参加

私たちが取り組んできた「この木なんの木QRカード」をさらに普及させるため、効果的なカードの形状や展示方法、市民の反応を調査することを目的として、昨年の十月に二ヶ所のイベントに参加しました。

十月二十一日～二十二日の二日間、三田市にある県立有馬富士公園で開催された「ありまふじフェスティバル」ではQRカードの展示及びカードを使った「森のクイズ」を実施し、多くの市民に参加していただきました。参加者の感想は、「ユニークなカードだ」、「森を歩くのが楽しくな



る」など好評を得ました。続いて十月二十五日に加西市にある県立フラワーセンターで開催された「秋の花と緑を愛でる会」では公園の樹木にQRカードを掲示し、全県下のビジョン委員等に関心を持って見ていただきました。県知事も興味を持って自ら携帯電話でカードを

読み取り保存されておられました。また、兵庫県の花のPRを行うフラワープリンセスにも携帯電話で読み取りいただき、「華」を添えていただきました。

これらのイベントに参加したことにより作成したカードを通じて市民の皆様が森林、樹木に興味を持っていただけることが分かり、私たちの取り組みが、一定の成果をあげることができたものと考えています。

笑顔にむかえられて

（身近な緑を語り隊！
一樹 洋彦）

顔のメイクも大切だけれど、「心のメイク」も必要ではないかという思いを抱きながら小雨の降る十月二十三日、三田市にある特別養護老人ホーム「さんすい園」を訪問しました。

今回は秋バジョンの紹介で三度目ということもあって入所者の皆さんとも顔なじみになり、会場に入っ



た瞬間、皆さんから笑みがこぼれ、暖かい雰囲気につつまれ、来て良かったと実感しました。

モデルになって頂いた女性職員の方が、メイクできれいになっていく様子を見てもらいながら、入所者の皆さんとの話に花が咲きました。

ボランティアの美容師の方が爪をみがいてきれいになり、手をマッサージしたり、髪をちよっと整えてあげたりと以前とは違った方法も行いました。

お喋りするうちに、入所者の皆さん自ら過去のこと、今の自分のこと等、色々とお話してくださいました。

交流が深まるにつれて心を開いてくださり、私たちの目指す「心のメイク」、「心の交流」ができたように感じました。お互いに元気になり、一日を良い気分でご過ごせる幸せを感じました。

（いきいきメイクグループ
寺本 枝美子）

宝塚「小浜の宿」を訪ねて

小浜の宿は、十五世紀末の浄土真宗毫撰寺を中心として発展しました。京都伏見街道、酒や米を運んだ西宮街道、有馬温泉へ行く有馬街道、それぞれの宿場町として栄えました。特に豊臣秀吉が有馬温泉に行くため、この有馬街道を通ったとして有名です。



▲毫撰寺

さて、私たち「であいたい」は四市一町の最後の訪問地として、宝塚の旧宿場を訪ねました。阪急売布神社から出発して、まず始めは「和田家」。江戸時代中期までに築かれた宝塚市内最古の民家の一つです。和田家は、飯野藩領の庄屋で、明治期になると米谷村の戸長も務めたそうです。

次に、私たちは、宝塚市が運営している小浜工房館へ行きました。この地で「小浜組」ができ、大工の腕の良いことで知られ、この近辺だけでなく、各地で活躍したそうです。特に、幕末期の棟梁「西村則周」は、戊辰戦争後に、戦乱で壊れた京都御所蛤御門の再建や、大阪難波別院御堂の建設等で活躍された、名だたる匠でした。

（であいたい 枝松 榮四郎）

川西・東谷「ミニミニ文化祭」に参加して

十一月二十六日(日)、東谷小学校の体育館で紙芝居とフルート演奏を上演しました。親子連れを含め、多くの子供たちが集まり、紙芝居の面白さに溶け込み、また、フルートの美しい調べにうっとりとした様子で大褒好評でした。「懐かしい催しですね」とおっしゃる親御さんもあり、童心に返り楽しんでおられました。

(ニコニコ水曜会 福田 幸彦)



伊丹での「もちつき会」を共催して

十二月三日(日)、伊丹市立女性・児童センターで行われた、「もちつき会」の屋外ステージを担当しました。雲ひとつない晴天に恵まれ、手作りの舞台の前は子供たちでいっぱいになりました。まず大道芸「コマ回し」の軽やかで見事なコマの演技に、皆がうっとりとした見とれるばかりです。つぎにフルート演奏で、曲目は「おおきな古時計」他八曲。会場にはさわやかで澄んだ調べが流れ、ゆったりと幸せを感じるひと時でした。そして、童話朗読は「おむすびころりん」と「もちもちの木」です。おもしろい筋書きに聞き入る真剣な子供たちの表情が印象的でした。



午後からは手作りの紙芝居で「勇敢なハッ

ちゃん」と「老犬ジコ物語」です。ストーリーは、演者本人が自宅で体験したもので、実感がこもっており、会場から大きな拍手が起りました。

最後は女性コーラス「カナリアアサロン」です。「夕焼け小焼け」他八曲を会場全員で歌い、明るく楽しい雰囲気になりました。ステージを担当するという「大仕事」を無事終えることができ、しかも、翌日センターの方からお礼状まで頂き満足感で一杯です。

(ニコニコ水曜会 近藤 峰子)



ホッとコーナー

日本最初の無軌道電車

昭和三年に、阪急電鉄(現在)の雲雀丘花屋敷駅の約三百メートル東側付近の停留場より満願寺の手前停留場(現在は峠の店)まで約二キロメートルを、屋根にポールをつけた電車が軌道のない道路を走りました。



いわゆるトロリーバスで、一両二十人乗りの二両編成。車体はワインレッドで屋根は白色のツートンカラー。タイヤは空気を入れないゴムタイヤでした。両停留場では、方向転換が設けられ、運転手や車掌が人力で方向転換を行っていたそうです。運賃は片道十銭、

“地域夢会議”開催のお知らせ

魅力的な地域をつくるためにはどのように行動したらよいか、地域の皆さんと一緒に考える夢会議を開催します。是非ご参加ください。参加無料

日時：平成19年2月24日(土) 13:00~15:30
場所：ぶらざこむ1(阪急宝塚線売布神社駅より東へ徒歩5分)
テーマ：私たちの地域づくりは

あなたも主役！ わたしも主役！ みんなで輝こう！

問合せ・申込先：兵庫県阪神北県民局地域ビジョン課
(TEL.0797-83-3117・FAX.0797-86-4379)

往復十五銭。満願寺近くの遊園地や新花屋敷温泉等の娯楽施設への客運搬が主目的でした。しかし経営が振るわず、開業五年目の昭和七年に廃業しました。記録によれば、その間の乗客数は四千三百六十六人。道路両側にあつた架線用の鉄塔等は先の大戦末期に軍需用に撤去押収され、今はその存在を知る面影は皆無といえますが、当時、小学生で通学に利用された方が満願寺の近くでご健在です。

(であいたい 丸橋 保雄)

編集後記

第三期ビジョン委員会広報部会で作る「夢じゃーなる」も最終号となりました。ビジョン委員会活動を限られた紙面でしたが、十分に県民のみならずお伝えすることができたでしょうか。この「夢じゃーなる」が、地域づくりや出会いのきっかけとなればと思っております。なお、第三期(平成十七、十八年度)活動報告書も三月に発行致します。ご協力頂きましたみなさまにお礼申し上げます。夢じゃーなる一〇〇号への思いをこめて、第四期にバトンタッチしたいと思います。

お問い合わせ先

兵庫県阪神北県民局地域ビジョン課
宝塚市旭町二丁目四番十五号
電話 〇七九七―八三―三二一九

第4期阪神北地域ビジョン委員を募集します!

～私たちの地域は、私たちの手で。
皆さんが地域づくりの主役です～

ビジョン委員となり、阪神北地域をもっとすてきなまちにしませんか。すばらしい出会いがきっと広がります。地域づくりに係る活動を行っている方、またはその意欲のある方、第4期ビジョン委員にどうぞふるってご応募ください。

- ・募集人数：100名程度
- ・募集期間：平成19年3月1日まで
- ※応募方法・募集内容の詳細は次まで
兵庫県阪神北県民局地域ビジョン課
(TEL.0797-83-3119)